

あすなろ

発行 沖電気の職場を明るくする会 (OAK) TEL 03-3455-6006
東京都港区三田3-2-20 FAX 03-3451-3595
メール: oak@fine.memail.jp



沖電気の職場を明るくする会

のホームページです

「一時金も大幅減額、
際限ない賃金カットはやめろ」を掲載



<http://oak47.hp.infoseek.co.jp>

従業員のやる気をなくす沖のリストラ

リストラ費用を捻出するために更なるリストラ

【連続リストラこそ 空洞化と破綻への道】

沖電気が上期実績と年間業績予想を下方修正するとともに、1500人の人員削減を柱とする追加リストラ計画を発表しました。業績悪化の理由は、IT不況や通信キャリアの投資抑制など外部要因にあるとされていますが、リストラ費用として50億円もの巨額損失が計上されています。一九九八年の「フェニックス21」以来、沖電気はグループで合計五千七百人、四人に一人の首を切るという猛烈な人減らしを進めてきました。今回、リストラ費用まで理由にして、さらに人減らしを拡大するという方針です。赤字を出すたびに労働者に犠牲を押しつけ、人件費削減と不採算部門の切捨てでしのぐという安易な経営が、業績悪化の真の理由ではないでしょうか。

【人材と技術は空洞化】

重大なことはNSC本体から設計・開発部門を切り離し、新会社と関連会社に移すとしていることです。これまでも研究開発部門や技術部門を次々と整理・縮小してきましたが、今回はいよいよ、技術部門まるごとの分社化に乗り出しました。会社は「時代が求める人材の不足」などと言っていますが、人材と技術の流出と空洞化は、会社自体のリストラの結果に他なりません。企業基盤である人材と技術を切り縮めるだけの経営で社会的信頼が回復するはずもありません。

【職場に広がる 経営不信】

度重なるリストラに職場では「行き当たりバッタリをいつまで繰り返すのか。通信の沖もここまで来たか」「従業員への知恵と経験を大切に生かせないのか」という声が上がっています。若手技術者の中にも不安がうずまいています。「沖はどうなってしまうのか。売れるものがないし品質も問題だ。新商品を開発しようとする意欲もなくなっている」と語るTさん(三十代)。「わずかな退職金でまた首になりそう。とりあえず移籍するしかないが条件はかなり下がる。外に仕事を探そうかと思う。労働組合は会社の方針を伝えるだけ、頼りにならない」と悩みを語るのは関連会社に出向移籍したばかりのNさん(二十代)です。「学会発表や特許出願の数も激減している。半年先のことも分からず、落ち着いてアイデアを考える雰囲気はない」「サラリーマン技術者がノーベル賞、田中耕一さんの業績が生まれた背景を沖電気も考えるべきだ」との声も。

若い社員の将来さえ脅かしている。やる気をなくすやり方は、もはや経営者としてはレッドカードです。人を活かし沖の自主的な技術を育て大切にしながら、向に経営の舵を切りかえる必要があるのではないのでしょうか。

【転籍・退職の 強要は違法行為】

すでに会社面接や組合説明

が始まっており、会社は退職優遇制度を延長しても人員削減を推し進める構えです。しかし退職、出向、転籍には本人の同意が必要であり、これを強制することはできません。「転籍や退職の勧奨行為には限度を超えれば違法な権利侵害となり、損害賠償の支払い義務が生じる」という最高裁判決もあります。納得のいかない場合は、はっきり断りましょう。

【長野沖で大幅な 構造改革】

長野沖の構造改革は基板製造1部、基板製造2部をはじめとする製造部門の従業員140名+ をオーテック浅間に移管するというものです。本庄生産センターの基板事業部門が群馬沖テクノへ移管され185名が出向したのが一九九九年五月でした。出向者の努力で黒字化されたのに二〇〇〇年十月には基板事業は長野沖に統合されました。沖本庄 群馬沖テクノ 長野沖と会社の施策で出向・転籍させられた仲間は今度は長野沖の構造改革で同じ敷地内とはいえオーテック浅間という有限会社に異動の選択をせまられています。

沖電気労組は群馬沖テクノへ出向する時にファクシミリ事業(本庄 高崎 福島 海外)のようなことはさせないと約束しました。せめて苦労した転籍者の意向を確認し沖本体に戻れるよう会社と交渉すべきではないでしょうか。



身近になった
ノーベル賞

ノーベル賞の最初の授与は一九〇一年、日本での初受賞は一九四九年、湯川秀樹さんの物理学賞で有名な中性子論に對してです。二〇〇〇年からは連続受賞で、今年(二〇〇二年)は一人受賞でした。小柴 由中の名前が連日マスコミに登場。小柴氏は東大名誉教授で以前から有力視され「やっ」と受賞。一方田中氏は島津製作所の研究所員。主任という肩書きや普通のサラリーマンというキャラクターがノーベル賞をぐっと私たちに引き寄せた感じがする。小柴氏は独自の発想で「ニュートリノ天文学」という新しい分野を築き、世界で初めて「ニュートリノ」という宇宙を飛び交う物質を検出した。田中氏は人の体を構成するタンパク質を分析する手法を生み出し、生命科学の発展には欠かせない技術として世界中で役立つ。以前国の研究施設予算が大幅に削減され怒った小柴氏。企業の中で、主任に留まっていた田中氏。目先の成果や利益を最優先し、地道な基礎研究を評価しない日本の政府や企業の体質が見えてくる。一人とも研究所や会社では愛人と言われているが国民のための境界の愛人と同一視してほしくないものだ。この会社も目先の利益や株価だけにとらわれ、「育ての」といつ精神を忘れてはいないか。

沖電気が不払い残業代を支払う 2年間分250万円を9月分賃金で

昨年五月にこれまで不払い残業代を支払うようにと港区の三田労働基準監督署に申告していた芝浦勤務の菅野基視さん（NSC所属）に沖電気は二年間約1000時間を9月の賃金で支払いました。菅野さんは、残業、休日出勤深夜残業など自分がした全ての残業を記録し毎日の不払い分（サービスクラス）を克明に記録していき、この記録が国会での日本共産党の吉川春子参議院議員の追及に力

サービスクラス残業是正 報告集会開催

「沖電気の職場を明るくする会」は菅野さんの不払い残業代支払の成果を多くの仲間

に知らせようと十月十九日（土）に新宿の農協会館で報告集会を開きました。集会は八王子労連、JMIU埼玉、日立、NECなど電機の職場、石川島播磨、雪印食品、沖関連の職場などの参加で会場を

「自分だけでなくまわりの労働者にもサービスクラス残業が蔓延している。このままでは大変なことになる」と厚生労働省の通達に励まされ労働基準監督署に告発した。「どんなす

地球にやさしい 沖電気に

廃棄物の削減・再資源化の向上を目指して活動をしている沖電気の八王子地域が、昨年度、再資源化九十八、八%を達成した。

いる沖電気は、九十三年から環境保護活動計画を策定して活動しているが、その成果が少しずつ現れていて、うれし

今年九月には、「グリーン調達規程書」をつくり公開した。環境にやさしい物品を購入するための規程が、出来上がりました。鉛入り半田の全廃、エコ・カーへの切替え、など環境保護の活動が、ますます重要になっていきます。

せまい日本 そんなこいそいで

東京

芝浦六号別館側の横断歩道は車の通りは多くないが信号が付いている。通勤時に沖の社員が赤信号を無視して走って渡るのをよく見かける。朝のこの道は小学生の通学路で向かい側に子どもたちが信号を待っているのに信号無視して堂々(?)とわたる沖の社員にはあきれ

代休・代出誰のため

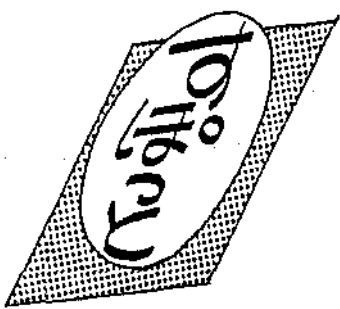
群馬

新卒対応を控え仕事量が増え始めています。それに伴い残業量も増加傾向です。四・五〇歳の働き盛り、教育費、家のローンと、もつとも出費の多い世代にも関わらず残業

拉致事件と職場の話題

八王子

北朝鮮の日本人拉致事件はヒドイね。「当時(七八年)は沖電気で大合理化があつた年だね」と職場では二つの事件を重ねた話題が・・・その後に入社した人も会社から「ビラは受け取るな!」「あいさつをするな!」等のマイ



相変わらずの 固定費削減

本庄

十月十六日新居MSCブレジントのMBWAの説明がありました。外部要因による予算の下方修正せざるをえなかった状況などが話され下期の予算を必達しないと大変なことになる、そのためには

「構造改革」の名のもとで多くの人が退職や関連企業へ移籍させられています。「今まで三人でやっていた仕事を一人で回している」「残業ゼロベースでは新しい発想は出来ないね」など・・・旧態以前のコスト削減策のみ

黒字も吹っ飛び 沖のリストラ

沖エアフォルク

沖エアフォルクが二〇〇二年度上期決算の結果二百万円

- * 市場価格競争力の強化
- * 変動費の削減
- * 費用の削減という方針がだされたが具体的なのは固定費の削減、人員削減だけであり従業員犠牲で危機を乗り越えようとする安易な方針はまったく変わりません

いく必要があるのではないのでしょうか。

の黒字となりました。会社幹部も「不景気の中でみんながんばったおかげ」と言っています。七・八年度の沖電